

業界最大規模の運営室数「ハローストレージ」がお届けする情報誌

# ストレージライフ

特集

## ハローストレージ利用者インタビュー

No.1 猪股 様 / No.2 T.T 様 / No.3 松野 様

1

Storage Life  
Information Magazine

2025-Apr.

創刊号



### 「ストレージライフ」創刊のご挨拶

このたび、新たに『ストレージライフ』を創刊する運びとなりましたことをお知らせ申し上げます。

近年、都市部を中心としたトランクルームの需要は急速に拡大し、その利用目的も多岐にわたりっています。本誌では、トランクルームを単なる「収納スペース」として捉えるのではなく、利用者一人ひとりのライフスタイルに寄り添い、新たな価値を生み出す存在として焦点を当てています。

創刊号では、さまざまなバックグラウンドを持つ利用者の方々

にインタビューを実施。仕事で上手にトランクルームを活用されている方、趣味のコレクションを大切に収納する方など、それぞれのトランクルームの使い方をご紹介します。

「トランクルームで、暮らしが変わる、生き方も変わる」をテーマに、リアルな声を通してトランクルームがかなえる理想的な生活を読者の皆様にお届けします。

本誌が、皆様の豊かな暮らしのヒントとなることを願っています。

ストレージライフ編集部一同



特集

# ハローストレージ利用者インタビュー

No.

01

## 使ってわかる新しい価値観

ハローストレージ利用歴  
約17年

猪股様



ECサイトで洋書の販売をおこなっています。以前は自宅に在庫を置いていましたが、置ききれなくなったためトランクルームを借り始めました。知人宅が水害に遭った話を聞き、自分でハザードマップなどを調べて水害の心配がない場所を選びました。

注文が入ると在庫を取りに行くので、ほぼ毎日トランクルームで書籍の出し入れをしています。自宅に在庫があふってきた時、広いマンションへの引っ越しや事務所を借りることも検討しましたが、現在の居住エリアは家賃が高く、光熱費や駐車場代もかかるため、トランクルームを選びました。書籍は重く、出し入れの頻度も高いため、車で横付けできるトランクルームは非常に便利です。事業拡大に伴い、トランクルームのサイズを変更したり、部屋を複数借りて対応してきました。マンションや事務所では、このように柔軟な対応は難しかったと思います。トランクルームを選んだのは最適な選択でした。

以前は自宅の2~3畳のスペースに本を平積みしてお



り、場所を取る上、目的の本を探すのも一苦労でした。トランクルームを借りた際にラックを導入し、棚番号を振ったことで、管理や出し入れが格段に楽になりました。おかげさまで売上が伸び、副業だった洋書の販売が本業になりました。洋書集めは趣味でもあるので、好きなことを仕事にできてとても嬉しいです。

トランクルームを利用することで、生活空間をシンプ



温度・湿度計を設置し、毎日チェックして記録。



棚番号を割り振り、全てExcelで管理。



在庫が増えてきたため、もう一部屋契約。

ルに保てるようになりました。スペースが生まれると家が広くなったように感じられ、気持ちにゆとりができます。家族にも喜ばれているので本当に利用して良かったです。世間的に全てのものを自宅に置くのが当たり前と思っている方が多いと思います。「自宅の外に収納場所を作る」というのは新しい価値観なので、実際に使ってみると便利さは伝わりにくいかかもしれません。ですが一度使ってみると良さが分かります。自宅に捨てられないものが多い方や、私のようにECサイトを運営している方には、ぜひ一度試していただきたいです。

「トランクルームで、暮らしが変わる、生き方も変わる」  
トランクルームが叶える理想的な生活をいち早く実践する利用者の方々へインタビュー。

No.

02

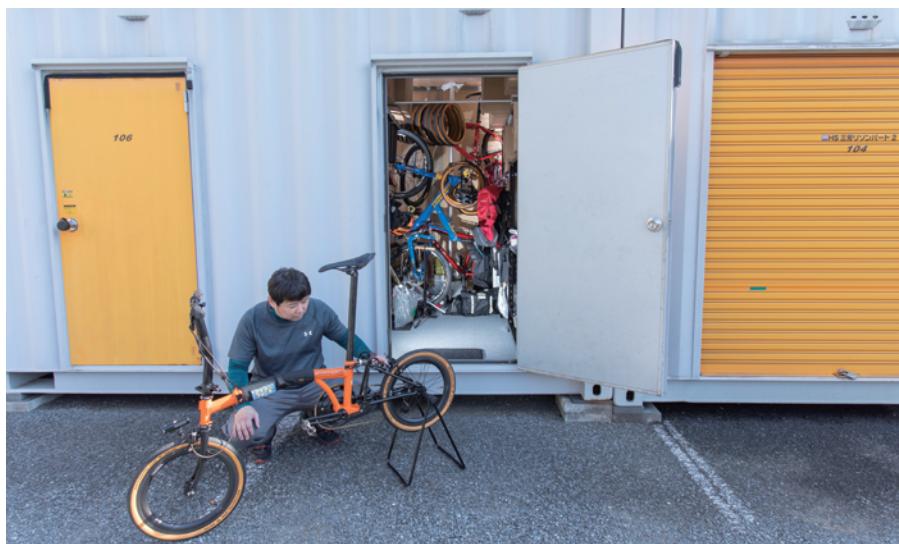
## 自宅から徒歩1分 自分専用の秘密基地

ハローストレージ利用歴  
約8年7カ月

T.T 様



自宅マンションの改装工事のため、一時的にベランダのBSアンテナや網戸を撤去することになりました。家の中に十分な置き場所がなかったため、近くのハローストレージを頼ったのが利用のきっかけです。それらを置いてもトランクルームのスペースに余裕があったので、元々興味を持っていた自転車を始めることにしました。折り畳みでも自転車はそれなりに場所をとりますが、トランクルームのおかげで置き場所の不安がなくなり、気軽に始めることができました。自転車はほとんどの人からみれば移動手段でしかないと思いますが、バイク

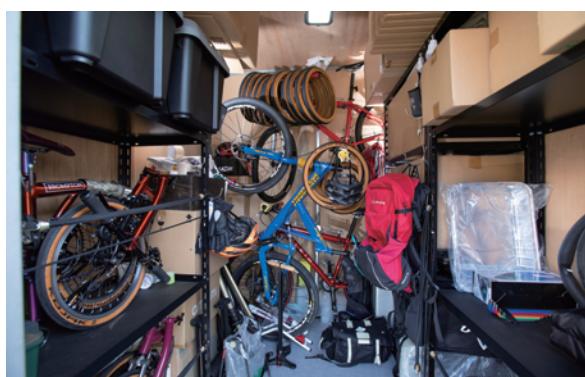


LEDライトを突っ張り棒につけて夜でも出し入れができるように。  
カーペットを敷いて、トランクルーム内は土足厳禁に。

や車同様、各パーツをカスタムできる楽しさがあります。見た目だけでなく、「平地を速く走る」といった性能面もカスタムできるのが面白くて、すっかりハマってしまいました。こんなに面白い趣味に出会うと、購入を1台、2台だけに留めておくのが勿体なくなります。トランクルームがあることで置き場所を理由に諦めることなく、存分に趣味を楽しむことが出来ています。

頻繁に乗る、普段使いの自転車も収納しているので、多い時は毎日、少なくとも週2回くらいは来ています。今ではすっかり自分だけの特別な空間です。普段仕事ではパソコンに向き合ってばかりなので、トランクルームに来ると、パソコンから離れて気分転換できます。この時間が好きなんです。家族にも、もし私が家に居なかつたらトランクルームにいるんだろうなと思われています。

仕事や家族も大事ですが、より人生を豊かにする上で趣味の役割が大きいことを実感しています。思い切り楽しむためには、ある程度収納スペースの確保が必要な



趣味も多いと思います。そういう方にトランクルームの活用を心からおすすめします。特に私と同じように自転車を趣味にしていて、収納場所に困っている方はトランクルームがベストアンサーではないでしょうか。今後もトランクルームに置いている自転車を大事にして、サイクリングを楽しみたいと思います。

「トランクルームで、暮らしが変わる、生き方も変わる」  
トランクルームが叶える理想的な生活をいち早く実践する利用者の方々へインタビュー。

No.

03

ここで物を眺めているのが楽しい

ハローストレージ利用歴  
約1年5ヶ月

松野 様



母が亡くなり、実家に置いていた荷物を整理する必要がありました。母の思い出が詰まっており、なかなか片付けが進みませんでした。誰も住んでいないため早く片付けなければという気持ちがあり、一部の荷物だけでもトランクルームに移すことにしました。物をトランクルームへ動かすことでも不思議と気持ちの整理ができ、片付けを焦らなくなりました。今年から徐々に片付けを始めようと思います。

私の趣味は楽器と釣りです。トランクルームには、自宅にあった私の物も収納しています。特に楽器は湿度に弱いものも多いですが、利用しているトランクルームは空調設備があるので安心して収納しています。

たくさんの楽器を持っており、私のドラム、ギター、シンバル、アンプ、亡くなった姉が使っていたトロンボーンとベル、そして亡くなった母の大正琴も置いています。嬉しいことに娘たちも吹奏楽部に入り、そのホルンやクラリネットなども置いています。楽器はきちんと手入れをすればずっと使い続けることができます。どれも思い出



があり、捨てられませんね。

実家の片付けはまだ本格的に手を付けられていませんが、楽器を眺めるために月2回ほど来ています。私にとってこのトランクルームは、おもちゃ箱のようなものです。眺めたり、手に取ったりするだけで心が躍るものがあります。人によってはそれが時計だったり、本だったりするのでしょうか。私にとってここにある楽器がそうです。



自作ですのこにキャスターを設置。これで重い楽器もラクラク移動ができます。



ラックは繋げて組立て、容積率と耐震性をUP。

本当はこの中で楽器を眺めながらお酒でも飲みたいくらいです。

実は妻が私と違ってあまりものを持たないタイプなので、自宅に趣味の物を置くスペースがなかったんです。どれも捨てがたいものばかりなので、トランクルームを借りられて本当によかったです。断捨離という考え方も時には必要だと思いますが、私個人としては物にはさまざまな思い出が詰まっており、持ち続けることで人生が豊かになるものもあるように思います。



#### ハローストレージに関するお問い合わせ

エリアリンク株式会社が運用する「ハローストレージ」は全国に11万室以上を展開しており業界最大規模。便利で安心なトランクルームです。

0120-52-4185

営業時間9:30~18:00(年末年始除く)